

時の流れははやいもので、もう2月も後半。3月が目前。つまり、年度末。
「あけましておめでとう」から2か月も経ってしまったなんて、、、。
年を重ねるたびに、Time flies like an arrow.(光陰矢の如し)を痛感します。

この英語専科通信も今年度最終号を迎えました。最後にどんな情報をお届けしようと思いましたが、現在のテクノロジー関連でもっとも熱いトピックである「生成AI」について触れていきます。

生成AIには、ChatGPTをはじめ、いろいろなものがあります。
検索に力を発揮するもの、画像生成に強いもの、作曲ができてしまうもの、
プレゼン資料をまとめてくれるもの、、、多種多様です。



私は英語の教員としてAIにとってもお世話になっています。
例えば、AIを活用し、こんなゲームが作れてしまいました。
Claude AIというものを使い、
「英語のしりとりゲームを作って」
とお願いをしました。その後、何回かやりとりを繰り返したら、できました！
普通は、オンラインでできるゲームを作るには、プログラミングの知識が必要です。しかし、AIの力を借りれば、できないことができるようになります。
今後、この分野の進歩はさらに、ものすごいスピードで進みます。
社会にも大きな変化を与えるでしょう。
子どもたちにも、AIと上手に付き合っていて楽しく生きていってほしいです。



今月の言葉

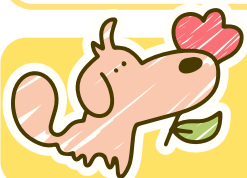
3月ですね。3月は旅立ちの季節。別れの季節。人生には数えきれないほどの出会いと別れがあります。別れには痛みが伴います。でも、その痛みが人を優しくし、人生を深くしてくれるのでしょうか。3月にぴったりの言葉を紹介します。

**"How lucky I am to have something
that makes saying goodbye so hard."**

「さよならを言うのがつらい相手がいるなんて、僕はなんて幸せなんだろう」という意味です。別れを惜しむくらいに大切な相手がいることを幸せと感じる言葉です。

**"What we call the beginning is often the end.
And to make an end is to make a beginning.
The end is where we start from."**

「始まりと呼ばれるものはしばしば終わりであり、終止符を打つということは新たな始まりである。終わりとは、私たちの出発点なのだ」という意味。
別れや終わりを新たな始まりとして捉える哲学的な言葉です。



1年間、ありがとうございました！

